

茶業研究所研究報告会

～高品質茶生産の飛躍的拡大に向けて～

当研究所は本年 1 月に完了したりニューアル整備を契機として、更に先進的な技術開発に取り組み、イノベーション創出や宇治茶の価値・魅力を発信していくことを目指しています。

2 月 9 日に開催した報告会では、高品質な宇治茶生産に欠かせない被覆栽培茶の樹体診断技術に関して報告するとともに、明日の宇治茶業界に貢献するための産学交流拠点としての機能や設備について説明しました。本報告会は京都府茶生産協議会が開催する茶業研修会の一環でもあり、生産者や茶業関係者など 260 名の参加がありました。

アンケートの結果、各報告については分かりやすく良かったと高く評価され、新しい茶業研究所に対しては、「若い茶農家が気軽に立ち寄れる場所であってほしい」などの要望がありました。

今後、当研究所は異業種・異分野との連携を深め、宇治茶の消費拡大や新ビジネス創出につなげていきます。



第 1 報告「被覆茶樹における簡易な樹体診断法の開発」



第 2 報告「茶業研究所 これまでの歩み、これからの役割」